

パネルスピーカー

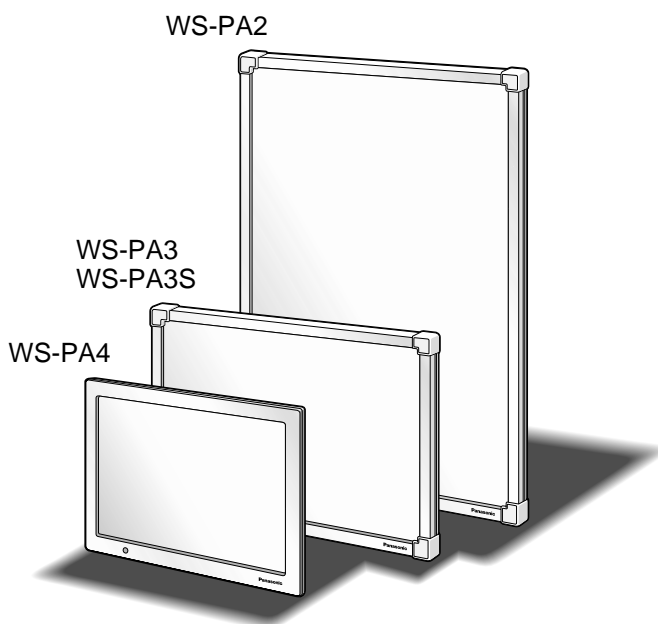
取扱説明書

品番 WS-PA2
WS-PA3
WS-PA3S
WS-PA4

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



もくじ

商品概要	2
付属品をご確認ください	2
著作権にご留意ください	2
商標について	2
本文中の表現について	2
安全上のご注意	3
取り扱いについて	6
人体センサーについて	6
前面パネル(ボード部)について	6
コンパクトフラッシュカードについて	7
各部の名前と働き	8
拡声のしかた	10
再生のしかた	11
録音のしかた	12
コンパクトフラッシュカードへの録音	12
録音内容確認のしかた	13
再生モードとカードの使用領域	14
センサー感度・1分タイマーについて	15
センサー感度	15
1分タイマー	15
再生モードのメモリーについて	16
変換ケーブルについて	16
マイク入力ジャック	16
ライン入力ジャック	16
設置のしかた	17
設置上のお願ひ	17
壁面吊り下げのしかた	17
壁面取付のしかた	18
スタンド(付属品)の使いかた	18
仕様	19
保証とアフターサービス	裏表紙

このたびは、パネルスピーカーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

商品概要

本機は、前面パネルを振動板として駆動する、屋内用アンプ内蔵フラットパネルスピーカーです。

- 内蔵の赤外線方式人体センサーによって、人が近づくと、コンパクトフラッシュカードに録音されたCM、案内放送などを自動的に放送します。
- センサーを使用しない繰り返し放送も可能です。
- コンパクトフラッシュカード録音再生機能を内蔵しています。
 - ・録音 マイク入力、ライン入力から、約8分録音可能です。
 - ・再生 CM・BGM 2つの領域で、4種類の再生モードがあります。
- スピーカー部には薄型ユニットを採用し、振動板を平板の樹脂で構成しているため、前面にはポスターや写真などの掲示やホワイトボード用マーカーによる書き込みができます。
- 大きさと機能は下記の4種類です。
 - ・WS-PA2 A2サイズ、録音・再生機能、センサー付き
 - ・WS-PA3 A3サイズ、録音・再生機能、センサー付き
 - ・WS-PA3S A3サイズ、マイク・ライン入力のみ
 - ・WS-PA4 A4サイズ、録音・再生機能、センサー付き



付属品をご確認ください

ACアダプター	1	壁掛用ひも (1 m)	1
安全ワイヤー	1	束線バンド WS-PA2,PA3,PA3Sのみ	1
取付ねじ (M3 × 10) WS-PA2,PA3,PA3Sのみ.....	2	スタンド WS-PA4のみ	1
フック金具 (A,B) WS-PA2,PA3,PA3Sのみ ..	各2	取扱説明書 (本書)	1
フック金具 WS-PA4のみ	2	保証書	1
クッション材 WS-PA4のみ	2		

著作権にご留意ください

市販されている楽曲をご利用になる場合は、楽曲、使用目的、使用形態などによっては、著作権法上、権利者の許諾を要する場合があります。許諾の要・不要は場合によって異なりますので、詳しい内容については「日本音楽著作権協会 (JASRAC)」の本部または最寄りの支部へおたずねください。

商標について

- CompactFlash (コンパクトフラッシュ) は、米国SanDisk社の商標です。
- NXTおよび  は、New Transducers社の商標です。
(NXT &  are the trademarks of New Transducers Ltd. All Patent rights reserved.)

本文中の表現について



- ☞ は、ご参照ページをあらわしています。

安全上のご注意



必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に 依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

必ず販売店にご依頼ください。

異常があるときは、 すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

定期的に点検する



取付部が劣化すると、落下などでけがの原因となります。

ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

重量に耐える場所に 取り付ける



取付場所の強度が不十分なとき、落下などでけがや事故の原因となります。

取付工事は販売店に依頼してください。

分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

修理や点検は、販売店にご相談ください。

異物を入れない



水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

禁止

ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

塩害や腐食性ガスの発生する場所に設置しない



取付部が劣化して、落下などの事故の原因となります。

禁止

可燃性ガス中で使用しない



爆発する恐れがあります。

禁止

油の付着しやすい場所に設置しない



取付部が劣化して、落下などの事故の原因となります。

禁止

不安定な場所に置かない



落下などでけがの原因となります。

禁止

専用の電源以外は使用しない



火災の原因となります。

禁止

付属のACアダプターを使用してください。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因となります。

ぬれ手禁止

電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



たこ足配線などで、定格を超えると発熱による火災の原因となります。

禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因となります。

禁止

コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

振動する場所に 取り付けない



振動で金具が破損し、
落下によりけがの原因
になります。

禁 止

取付工事は販売店に依頼して
ください。

湿気やほこりの多い場所に 設置しない



火災や感電、故障の原
因になります。

禁 止

設置の際は、付属の安全 ワイヤーを取り付ける



取付部が劣化する
と、落下などでけが
の原因となります。

取付工事は販売店に依頼して
ください。

注意

ねじや固定機構は、 しっかり締め付ける



締め付けがゆるむ
と、落下などでけが
の原因となります。

人がぶつからない 高さに取り付ける



けがの原因となりま
す。

通風孔をふさがない



内部に熱がこもり、
火災の原因になりま
す。

禁 止

使用上のお願い

使用電源は

AC100 V (50 Hz / 60 Hz) です。付属のACアダプター以外は使用しないでください。

また、付属のACアダプターを他の機器に使用しないでください。

使用温度範囲は

0 ~ +40 です。この温度範囲外で使用すると、内部の部品に悪影響を与えたり、誤動作の原因となります。

ご使用にならないときは

ACアダプターの電源コードをACコンセントから抜いてください。音量最小時でも、約3 Wの電力を消費しています。

ハウリングについて (マイク入力で拡声時)

マイクと本機が近づくと、ハウリングを起こします。マイクと本機は、1 m以上離してご使用ください。また、マイクを使用しない時は、マイクのスイッチを「切」にすることをおすすめします。

音量調節ボリュームについて

音量調節ボリュームが最大で過大入力時は、音が歪んだり異音が発生します。適正な音量調節位置で使用してください。

お手入れについて

電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、台所用洗剤 (中性) を水で薄め、柔らかい布にしみ込ませ、固く絞って軽くふいてください。その後、乾いた柔らかい布で洗剤成分をふき取ってください。
- ベンジン、シンナーなどでふいたりすると変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

取り扱いについて

人体センサーについて

本機に使用している人体センサーは、赤外線変化を検出する焦電型赤外線センサーです。「人体以外の熱源を検出したり、熱源の温度変化および移動がない場合は、検出しません。」一般的に以下のような条件では誤動作する場合があります。

- ①人体以外の熱源を検出する場合
 - 小動物が検出範囲に入った場合
 - 太陽光、自動車のヘッドライト、白熱灯などの遠赤外線がセンサーに直射する場合
 - 冷暖房機器の温風、冷風や加湿器の水蒸気などにより、検出範囲の温度が急激に変化した場合
- ②人体を検出しにくい場合
 - ガラスやアクリルなど、遠赤外線を透過しない物体がセンサーと人体の間にある場合
 - 検出範囲内の熱源がほとんど動かない場合、または高速に移動する場合

検出範囲と誤動作

- 本機の電源供給直後から約30秒間は、センサー自体が安定していません。電源を供給してから約30秒後からは正常に人体検出します
- 人体の移動後、約0.5秒で検出します。移動と同時に検出しません。
- 本機のセンサーは、パネル正面方向（パネル面からの垂線方向）の人体を検出します。人が通る方向にセンサーを向けて本機を設置してください。正面以外での不検知は故障ではありません。

前面パネル（ボード部）について

取り扱いについて

前面パネル（ボード部）は振動板です。強い力で押さないでください。故障の原因となります。

パネルへの貼り付けについて

- ①貼り付ける用紙（ポスターなど）は、できるだけ薄い用紙をご使用ください。厚い用紙を使用すると、音質が損なわれることがあります。
- ②貼り付けには、「住友3M社製 スプレーのり 55番」を推奨します。または、市販の繰り返し貼付可能な接着剤をご使用ください。貼付作業は、先にも用紙の裏面に「住友3M社製 スプレーのり 55番」を塗布し、少し乾いてから本体に貼り付けます。強く接着すると後ではがれにくくなりますので、ご注意ください。
- ③はがすときは、ゆっくりと丁寧にはがし、前面パネルに急激な負荷が加わらないように行ってください。
- ④はがした後、接着剤の残りなど汚れが落ちない場合は、布に少量のアルコールなどを染み込ませて拭き取ってください。その際、パネル本体の周りにアルコールがつかないようにご注意ください。特にWS-PA4は塗装が落ちることがありますのでご注意ください。

パネルへの書き込みについて

- ①市販のホワイトボード用マーカーで、直接書き込むことができます。ただし、長時間放置すると、マーカーの種類によっては後が残る場合があります。事前に試してからご使用ください。
- ②汚れが落ちない場合は、布に少量のアルコールなどを染み込ませて拭き取ってください。その際、パネル本体の周りにアルコールがつかないようにご注意ください。特にWS-PA4は、塗装が落ちることがありますのでご注意ください。

コンパクトフラッシュカード（メモリーカード）について

コンパクトフラッシュカードは付属していません。別途ご用意ください。

● 使用可能なコンパクトフラッシュカードについて

本機での使用が確認できたコンパクトフラッシュカード（市販品）は下表の通りです。

メーカー名	容量（MB：1MBは1024 KB）
TDK	16,32

● コンパクトフラッシュカードの使用領域について

本機ではコンパクトフラッシュカードを2つの領域で使用しています。

CM領域..... ・本機で録音、再生が可能な領域です。

- ・容量は4 MB固定です。本機で連続約8分の録音ができます。

BGM領域 ... ・本機では再生のみ可能です。

- ・容量はコンパクトフラッシュカードの全容量 - 4 MBです。

（16 MBの場合は、12 MBがBGM領域です）



● 音楽配給会社について 1

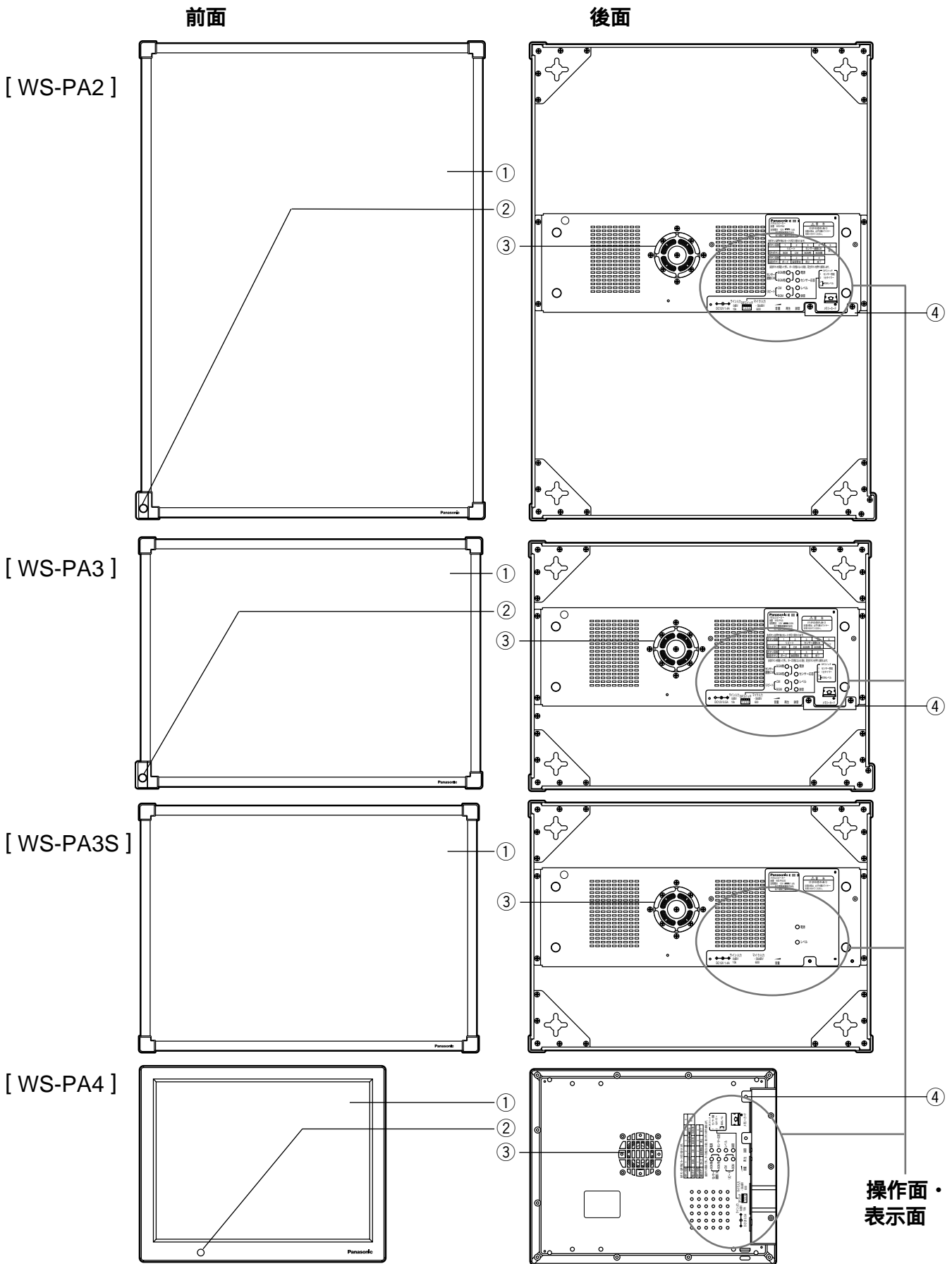
通常は、BGM領域にBGM用音楽を音楽配給会社に録音依頼し、本機でCM領域にアナウンスを録音して使用します（BGM・CM領域共に音楽配給会社に録音依頼することもできます）。

1 音楽配給会社については、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

● 録音可能なコンパクトフラッシュカードについて

- ・音楽配給会社などで作成したCM・アナウンスは、誤操作による消去を防止するため、録音プロテクトをかけています。CMプロテクトのかかったコンパクトフラッシュカードには録音できません。
- ・購入直後の新しいコンパクトフラッシュカードには、そのまま録音できます。
- ・他のデータなどが入ったコンパクトフラッシュカードは、初期化しても使用できない場合があります。

各部の名前と働き

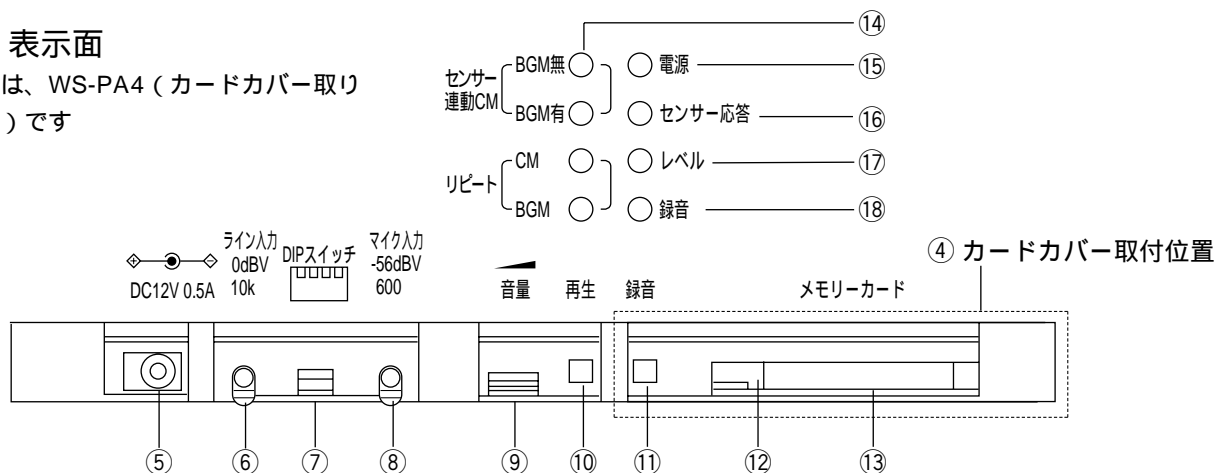


前面

- ①振動板
- ②センサー WS-PA2,PA3,PA4のみ。
人などの動きを赤外線で検出します。

操作面・表示面

イラストは、WS-PA4（カードカバー取り外し状態）です



後面

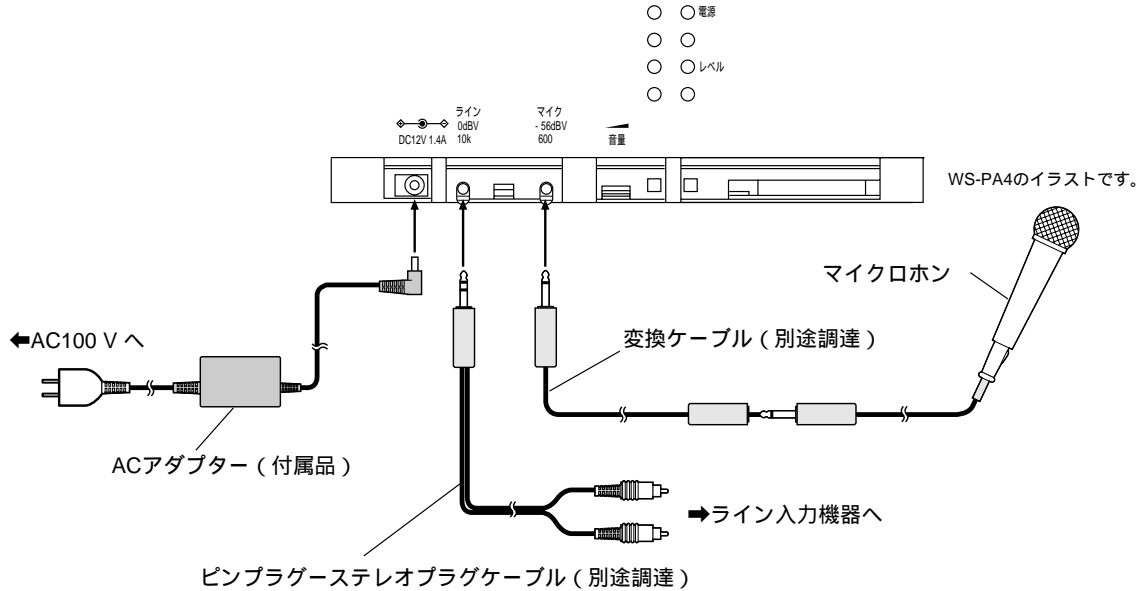
- ③エキサイター
- ④カードカバー WS-PA2,PA3,PA4のみ。
(☞11ページ 手順2,6)

- ⑤電源入力ジャック
[DC12 V 0.5 A(PA3,PA4),1.4 A(PA2,PA3S)]
付属のACアダプターを接続します。
- ⑥ライン入力ジャック[ライン入力 0 dBV 10 k]
 - ライン入力機器を接続します。
 - ステレオL,R信号は内部でミキシングされます。
 - 入力ジャックは、3.5ステレオジャックです。市販のピンプラグ-ステレオプラグケーブルで接続します。
- ⑦ディップスイッチ[DIPスイッチ 1,2,3,4]
WS-PA2,PA3,PA4のみ。
センサー連動BGM(有)モード時のセンサー感度、1分タイマー、BGMレベルを設定します。(☞14～15ページ)
- ⑧マイク入力ジャック[マイク入力 - 56 dBV 600]
 - 有線マイクロホン接続します。
 - 入力ジャックは、3.5モノラルジャックです。
 - 大型TRSプラグ(6.3)のマイクロホンは、変換ケーブルで接続します(☞16ページ)
- ⑨音量調節ボリューム[音量]
マイク、ライン拡声、コンパクトフラッシュカード再生時の音量と、コンパクトフラッシュカードへの録音音量を調節します。
- ⑩再生モード切換スイッチ[再生](青ボタン)
WS-PA2,PA3,PA4のみ。
 - コンパクトフラッシュカードの再生モードを設定します。
 - 押す毎に再生モード表示灯⑭が順次点灯します。
 - 録音モード時は、録音解除スイッチとして動作します。
- ⑪録音モード切換スイッチ[録音](赤ボタン)
WS-PA2,PA3,PA4のみ。
 - コンパクトフラッシュカードへの録音モードを設定します。
 - 押す毎に、録音モード表示灯⑱の色が変化します(☞12～13ページ)
- ⑫コンパクトフラッシュカードイジェクトボタン
WS-PA2,PA3,PA4のみ。(☞11ページ)
- ⑬コンパクトフラッシュカード挿入口[メモリーカード]
WS-PA2,PA3,PA4のみ。(☞11ページ)
- ⑭再生モード表示灯 WS-PA2,PA3,PA4のみ。
モード設定時は、「緑」が連続点灯します(☞11ページ)
- ⑮電源表示灯[電源](緑)
- ⑯センサー応答表示灯[センサー応答] WS-PA2,PA3,PA4のみ。
 - 前面パネルのセンサーが人体を検出した時、「橙」が点灯します。
- ⑰レベル表示灯[レベル]
 - 拡声、再生動作時は出力音量に対応して「緑」「橙」が点灯します。
 - 録音モード時は、録音レベルに対応して「緑」「橙」が点灯します。
 - 「橙」点灯時は過大入力での音の歪みが発生します。「橙」が点灯しないレベルに音量を調節します。
- ⑱録音モード表示灯[録音] WS-PA2,PA3,PA4のみ。
ポーズ:「橙」連続点灯
録音:「赤」連続点灯
停止:「緑」連続点灯
(☞12～13ページ)

拡声のしかた

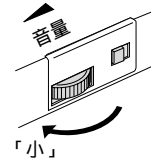
接続したマイクロホンやライン入力機器から、拡声放送することができます。

マイクロホン入力、ライン入力、コンパクトフラッシュカード入力は、全てミキシング拡声されます。



1

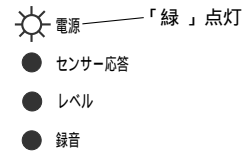
音量調節ボリュームで音量を最小にします。



2

付属のACアダプターを接続します。

- 電源表示灯「緑」が点灯する。



3

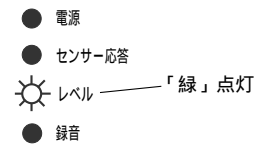
マイクロホン、ライン入力機器を接続し、それぞれの電源を入れます。

- 変換ケーブル、ピンプラグースtereoプラグケーブルは付属していません。別途ご用意ください (☞16ページ)。

プラグは奥までしっかりと差し込んでください。

4

音量調節ボリュームは、レベル表示灯が「緑」に点灯するレベルでご使用ください。レベル表示灯が「橙」に点灯するレベルでは、異常音の原因になることがあります。



5

マイクロホン、ライン入力機器から拡声します。

コンパクトフラッシュカードの再生☞11ページ

コンパクトフラッシュカードへの録音☞12ページ

再生のしかた

コンパクトフラッシュカードに録音された、アナウンス (CM) 音楽 (BGM) を再生できます。

CM・BGM 2つの領域で、4種類のモード (☞14ページ) の再生が可能です。

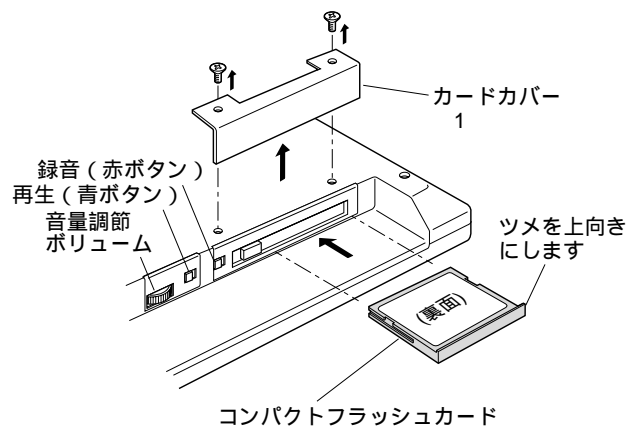
電源を切ると、設定した再生モードはリセットされますが、設定した再生モードをメモリーしておくこともできます (☞16ページ)。

1 音量調節ボリュームで音量を最小にし、付属のACアダプターを接続します (☞10ページ)。

2 カードカバー取付ねじ2本を外して、カードカバーを外します。

3 コンパクトフラッシュカードを挿入します。
 ●ラベル面 (表面) を下向きにして挿入する。
 ●コンパクトフラッシュカードは、アナウンス (CM) 音楽 (BGM) を録音しているカードを使用します (☞12~13ページ)。

1 コンパクトフラッシュカードを挿入する場合も、挿入しない場合も、カードカバーを装着してご使用ください。装着しないと異常音の原因になることがあります。

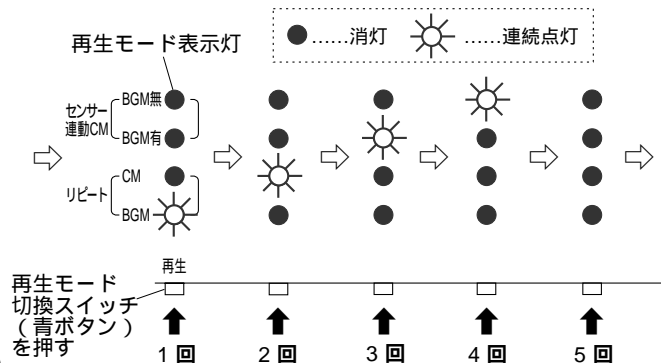


4 再生モード切換スイッチ (青ボタン) を押して、再生モードを設定します。

- 再生モード切換スイッチを1回押すごとに再生モードが変化し、再生モード表示灯「緑」が順次点灯します (工場出荷状態：全消灯)。(再生モードについて ☞14ページ)

工場出荷時：全消灯

- 1 回押す：BGM点灯 (BGMリピートモード)
- 2 回押す：CM点灯 (CMリピートモード)
- 3 回押す：BGM有点灯 (センサー連動BGM(有)モード)
- 4 回押す：BGM無点灯 (センサー連動BGM(無)モード)

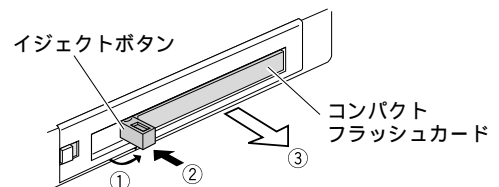


5 音量調節ボリュームで、適正な音量に調節します (☞10ページ)。

6 カードカバーを、元通り確実に取り付けます。
 ●再生を終了するときは、再生モード切換スイッチ (青ボタン) を押して、再生モード表示灯が全消灯状態にします。

コンパクトフラッシュカードを取り出すときは

- ①コンパクトフラッシュカード挿入口の横にあるイジェクトボタンを手前に引き起こす。
- ②イジェクトボタンを押し込む。
- ③コンパクトフラッシュカードを取り出す。



録音のしかた

コンパクトフラッシュカードへの録音

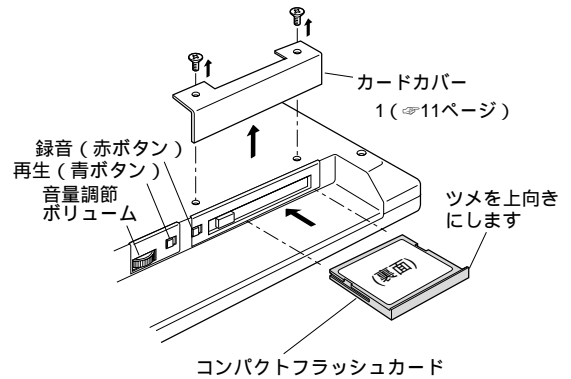
マイクロホンや接続機器からの入力音声などをコンパクトフラッシュカード(カード)へ録音(約8分)できます。

録音準備

- 1 音量調節ボリュームで音量を最小にし、付属のACアダプターを接続します。マイクロホン、ライン入力機器を接続し、それぞれの電源を入れます。(⇒10ページ)

- 2 カードカバー取付ねじ2本を外して、カードカバーを外します。

- 3 コンパクトフラッシュカードを挿入します。
 - 新しいカードか、CM(アナウンス)部にユーザー録音しているカードを使用する。
 - ラベル面(表面)を下向きにして挿入する。

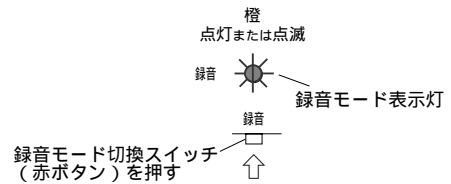


ポーズ状態

録音解除

ポーズ状態で、再生モード切換スイッチ(青ボタン)を押します。
録音開始以降は、解除できません。

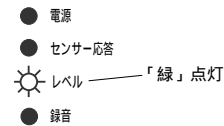
- 4 録音モード切換スイッチ(赤ボタン)を1回押して、ポーズ状態にします。
 - 録音表示灯「橙」点灯または点滅。録音モード表示灯が「赤」点滅したカードは、録音できません(⇒13ページ)。



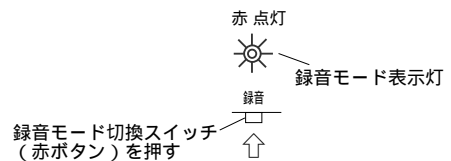
録音開始

自動的に上書きされ、前の録音内容は消去されます。

- 5 マイク入力、ライン入力の音声などを再生しながら、レベル表示灯「緑」が点灯し、時々「橙」が点灯するレベルに音量を調節します。この時、スピーカーから音声は拡声されません。

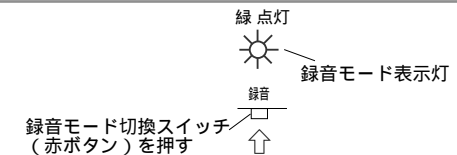


- 6 録音モード切換スイッチ(赤ボタン)を再度押して、録音を開始します。
 - 録音中 録音表示灯「赤」点灯。この時、スピーカーから音声は拡声されません。



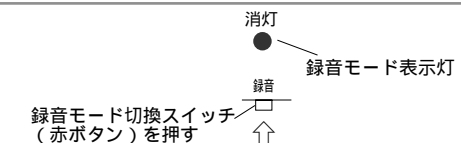
録音停止

- 7 録音モード切換スイッチ(赤ボタン)を再度押して、録音を停止します。
 - 録音表示灯「緑」点灯。



録音終了

- 8 音量調節ボリュームを絞りと、録音モード切換スイッチ(赤ボタン)を再度押して、録音作業を終了します。



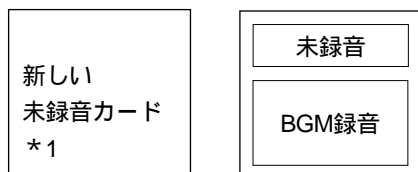
- 9 カードカバーを、元通り確実に取り付けます。
 - 通常の拡声動作を開始する。

録音内容の確認のしかた

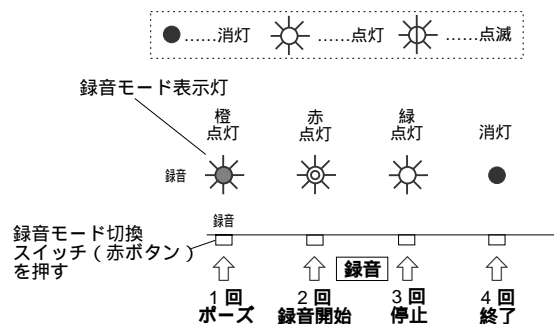
コンパクトフラッシュカード(カード)への録音時に、カードの録音内容を録音モード表示灯で確認することができます。(コンパクトフラッシュカードについて 7ページ)

新しい未録音カード、またはBGMのみ録音され、CM未録音のカードに録音する場合

ポーズ状態のとき、録音モード表示灯が「橙」に点灯します。

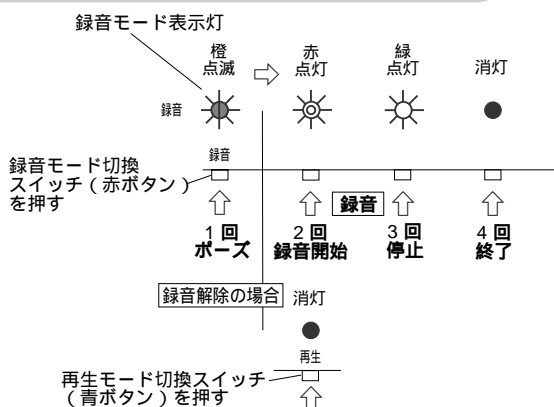
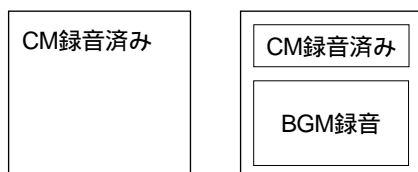


*1 購入直後の新しいコンパクトフラッシュカードには、そのまま録音できます。



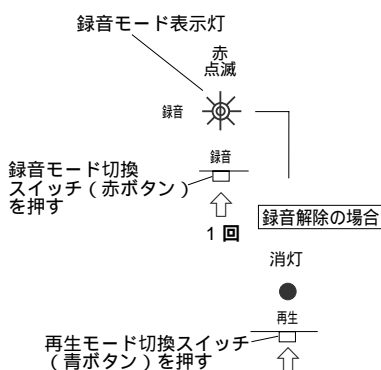
すでにCM録音されたカードに録音する場合

ポーズ状態のとき、録音モード表示灯が「橙」に点滅します。



CMプロテクトのかかったコンパクトフラッシュカードには録音できません

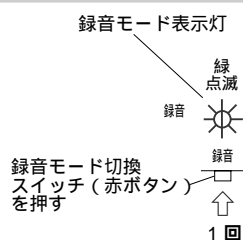
ポーズ状態のとき、録音モード表示灯が「赤」に点滅します。



カード未装着、または他の機器のデータ*2 などが入ったカードには、録音できません

ポーズ状態のとき、録音モード表示灯が「緑」に点滅します。

*2 他のデータなどが入ったコンパクトフラッシュカードは、初期化しても使用できない場合があります。



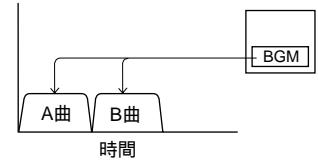
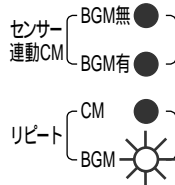
再生モードとカードの使用領域

再生モードには4種類あり、再生モード表示灯で確認することができます。コンパクトフラッシュカードの使用領域は次の通りです。

BGMリピートモード

BGM領域に録音された音楽などをランダム再生します。

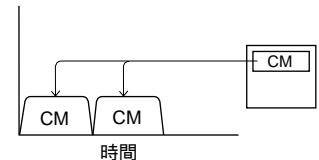
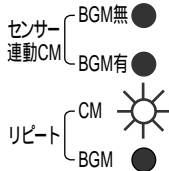
コンパクトフラッシュカードが未挿入、またはBGM領域が無録音のものを使用した場合は、再生モード表示灯が全点滅し、再生しません。



CMリピートモード

CM領域に録音されたアナウンスなどを繰り返し再生します。

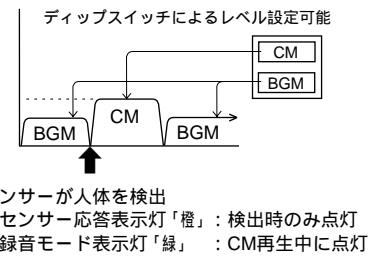
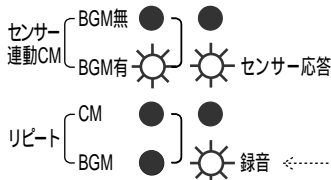
コンパクトフラッシュカードが未挿入、またはCM領域が無録音のものを使用した場合は、再生モード表示灯が全点滅し、再生しません。



センサー連動BGM (有)モード

センサーが人体を検出すると、アナウンスなどを1回のみ再生します。

コンパクトフラッシュカードが未挿入、またはBGM領域が無録音のものを使用した場合は、再生モード表示灯が全点滅し、再生しません。

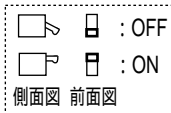
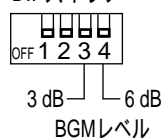


BGMの再生レベルについて

ディップスイッチ3,4で、BGMレベルを下げるすることができます。

CMの録音レベルが低い場合は、表示よりもCMとBGMの差が得られない場合があります。その場合は、録音レベルを適正レベルにして、再度CM録音してください。

ディップスイッチ

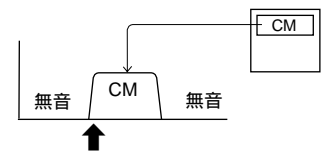
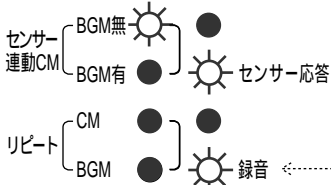


OFF OFF	OFF ON
☐☐ 3 4	☐☐ 3 4
: 0 dB (工場出荷状態)	: - 6 dB
ON OFF	ON ON
☐☐ 3 4	☐☐ 3 4
: - 3 dB	: - 9 dB

センサー連動BGM (無)モード

センサーが人体を検出すると、CM領域に録音されたアナウンスなどを1回のみ再生します。

コンパクトフラッシュカードが未挿入、またはBGM領域が無録音のものを使用した場合は、再生モード表示灯が全点滅し、再生しません。



センサーが人体を検出
 ・センサー応答表示灯「橙」：検出時のみ点灯
 ・録音モード表示灯「緑」：録音モード中に点灯

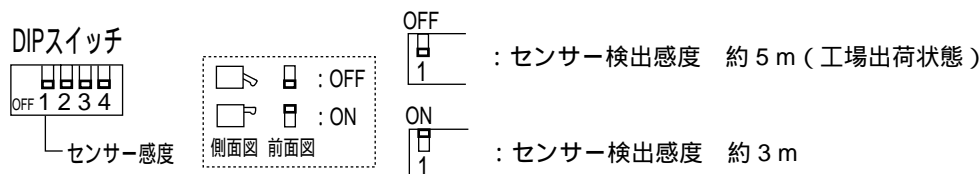
センサー感度・1分タイマーの設定

センサー感度

センサーの検出感度を切換できます。

本センサーは、人体などが移動したことによる赤外線の変化を検出する焦電型赤外線センサーです。

人体以外の熱源を検出したり、熱源の温度変化量が少ない場合は、検出しない場合があります(☞6ページ)。



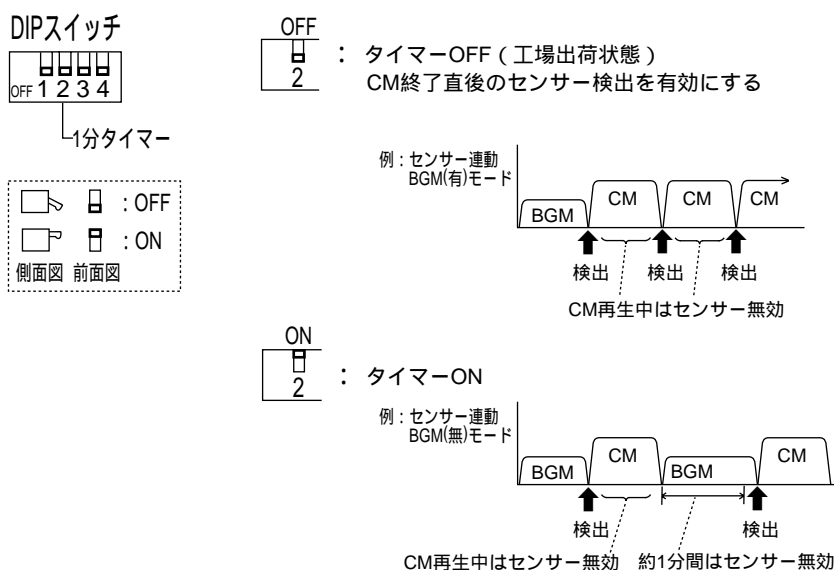
検出距離について

- 本機のセンサーは、パネル正面方向(パネル面からの垂線方向)の人体を検出します。人が通る方向にセンサーを向けて本機を設置してください。正面以外での不検知は故障ではありません。
- 上記距離は、設定の目安です。検出距離は、センサー正面方向の距離を示しますが、背景と人体の温度差および移動速度によって変化します。3 mに設定しても3 m以上で、5 mに設定しても5 m以上で検出する場合があります。

1分タイマー

人が並んでいるなどの条件下では、常時人体を検出してCMを再生し続ける場合があります。

このような場合は、CM再生終了後、約1分間センサー検出を無効にする1分タイマーを設定することができます。



再生モードのメモリーについて

本機には、電源を切る前の再生モードをメモリーする機能があります。
この設定により、電源入/切を繰り返しても、電源を切る前のモードで動作します。

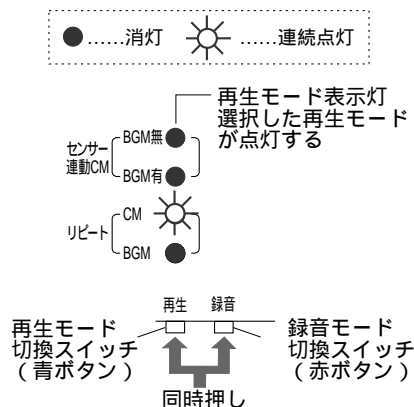
1 再生モード切換スイッチを押してメモリーしたい再生モードを選択（☞11ページ）したまま、録音モード切換スイッチ（赤ボタン）を押し（同時押し）ます。

この時、再生モード切換スイッチ（青ボタン）を一度離すと、次の再生モードにかわってしまいます。

2 メモリーした再生モードで、再生を開始します。

- 設定した再生モード表示灯が点灯する。
- 他の設定をメモリーする場合は、手順1～2を繰り返す。

（例）CMリピートモードをメモリーする場合



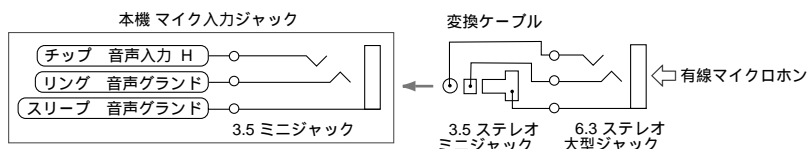
変換ケーブルについて

マイク入力ジャック

本機のマイク入力ジャックには、3.5 モノラルミニジャックを使用しています。

6.3 大型マイクプラグを使用する場合は、変換ケーブルが必要です。

推奨ケーブル：RP-PA70A [松下電器産業（株）AVC社 デジタルAVネットワーク事業部 AVアクセサリ部]



お願い

- モノラルミニプラグ ステレオ大型ジャック変換ケーブルは、音声入力Hと音声グラウンドが接続されるため使用できません。
- 変換ケーブルのご使用を推奨しますが、モノラルミニプラグ モノラル大型ジャック変換プラグを使用する場合は、ケーブルが振動板に接触しないように束線処理してください。

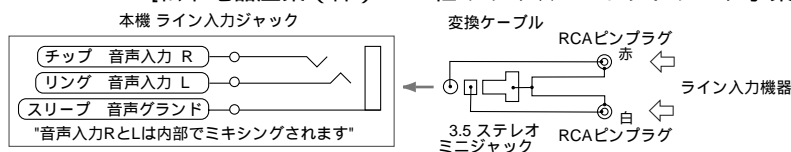
ライン入力ジャック

本機のライン入力ジャックには、3.5 ステレオミニジャックを使用しています。

ライン入力機器のジャックに適合する変換ケーブルが必要です。

ピンプラグを使用したライン入力機器の場合、下記の推奨ケーブルをご使用ください。

推奨ケーブル：RP-CAPM3G15 [松下電器産業（株）AVC社 デジタルAVネットワーク事業部 AVアクセサリ部]



お願い

- 本機のライン入力レベルは0 dBV (10 k)です。接続する機器の出力レベル、インピーダンスに合わせて、抵抗入り変換ケーブルをご使用ください。

設置のしかた

⚠ 警告

- 本体の不良による落下事故以外の、取り付け方法の不備などによる落下事故に対する責任は一切弊社は負いかねますので、取り付け場所や取り付け方法の設計は十分な注意をお願いします。強度が不足の場合は、十分な補強をし、安全を確認して取り付けてください。
- 設置工事は、専門の工事店に依頼してください。
- 安全のため十分な落下防止対策を施し、必ず定期的に保守点検を実施してください。

設置上のお願

設置場所は

直射日光の当たる場所や温風吹き出し口近くは避けてください。また、湿気やほこり、振動の多い場所に設置すると故障の原因となることがあります。

近くの妨害電波について

テレビなどの送信アンテナの直下や近くで携帯電話を使用した場合は、雑音が発生する場合があります。携帯電話は本機から2 m以上離してご使用ください。

壁面吊り下げのしかた

WS-PA2,PA3,PA3S

付属のフック金具A・B、取付ねじ、壁掛用ひも、安全ワイヤー、束線バンドを使用して取り付けます。

1 フック金具 Aをパネルフレームの両側面にはめ込みます。

2 フック金具 Bを手順1の状態のフック金具 Aに、取付ねじで取り付けます。

3 フック金具 Aの壁掛用ひも取付穴に、壁掛用ひもを通して結びます。

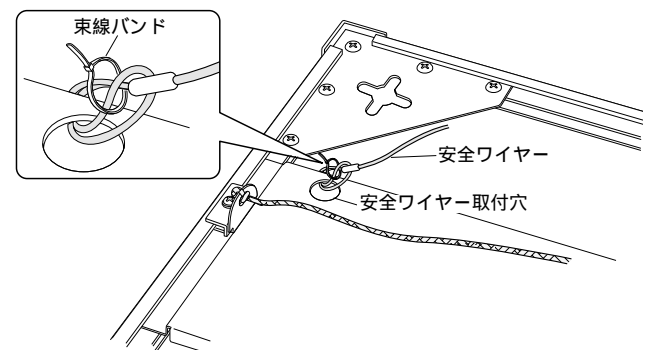
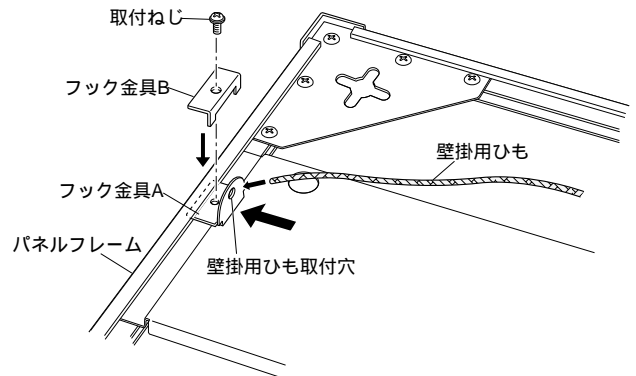
- ほどけないようにしっかりと結んでください。
- 付属の壁掛用ひも(1 m)は、必要に応じてカットしてください。

4 フック金具の位置を調節します。

- 取付ねじをゆるめて調節し、位置が決まったら、しっかりと締め付けてください。

5 安全ワイヤーを取り付けます。

- ① 本機の安全ワイヤー取付穴に安全ワイヤーを通し、付属の束線バンドでしっかり固定してください。
- ② 十分強度を確保できる場所に、ゆるみが出ないようにしっかりと固定してください。

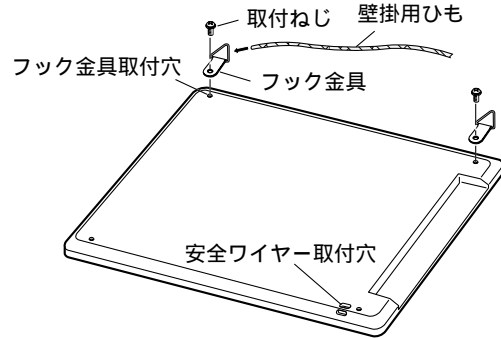


設置のしかた

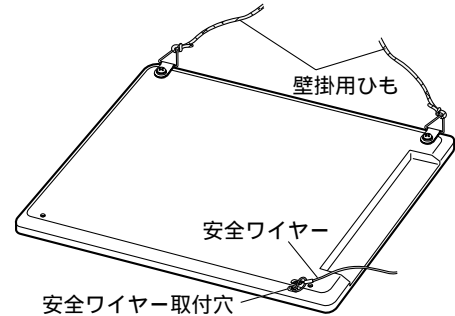
WS-PA4

付属のフック金具、取付ねじ、壁掛用ひも、安全ワイヤーを使用して取り付けます。

- 1** フック金具をフック金具取付穴（2箇所）に取り付けます。
- 取付ねじは、あらかじめ本体に取り付けてあるものをご使用ください。



- 2** フック金具に壁掛用ひもを通して結びます。
- ほどけないようにしっかりと結んでください。付属の壁掛用ひも（1m）は、必要に応じてカットしてください。



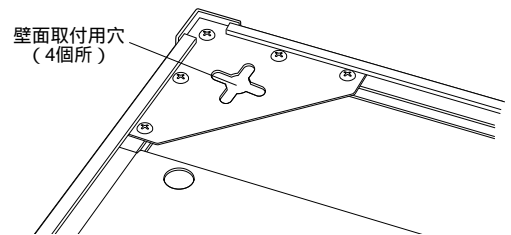
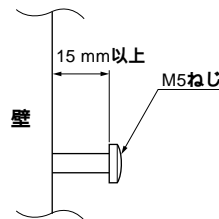
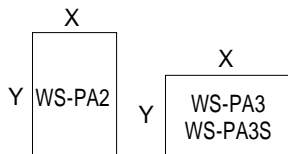
- 3** 安全ワイヤーを取り付けます。
- ① 本機の安全ワイヤー取付穴に安全ワイヤーを通し、しっかりと固定してください。
 - ② 十分強度を確保できる場所に、ゆるみが出ないようにしっかりと固定してください。

壁面取付のしかた（WS-PA2, PA3, PA3Sのみ）

取付ねじ（別途調達）を使用して取り付けます。

取付ねじピッチ一覧表

	X	Y
WS-PA2	383 mm	557 mm
WS-PA3, PA3S	383 mm	260 mm

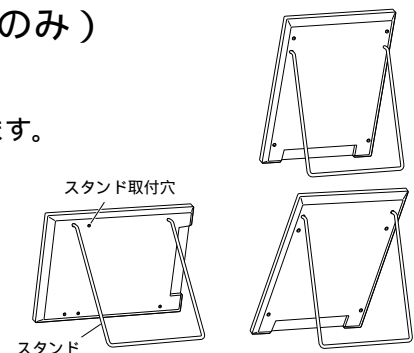


スタンド（付属品）の使いかた（WS-PA4のみ）

取付穴の位置によって、下記イラストのような角度で使用できます。スタンド取付穴（2箇所）に付属のスタンドをしっかりと差し込みます。

お願い

床や机など、滑りやすい場所に設置する場合は、付属のクッション材2枚をスピーカーの底面に貼ってください。



仕様

電源	DC12 V [ACアダプター (付属品) 使用]
消費電流	約0.5 A (注) [消費電力: 10 W、付属ACアダプター時] 約1.0 A (定格出力時)
出力音圧	90 dB SPL (200 Hz、500 Hz、1 kHz、2 kHz、5 kHz 平均) [ライン入力-10 dBV, 50 cm時]
使用温度範囲	0 ~ +40
寸法	WS-PA2 : 幅 459 mm 高さ 628.5 mm 厚さ 29.5 mm (厚さは突起部含まず) パネル寸法 : 幅 424 mm 高さ 598 mm WS-PA3,3S : 幅 459 mm 高さ 331.5 mm 厚さ 29.5 mm (厚さは突起部含まず) パネル寸法 : 幅 424 mm 高さ 301 mm WS-PA4 : 幅 346 mm 高さ 268 mm 厚さ 27 mm パネル寸法 : 幅 301 mm 高さ 214 mm
質量	WS-PA2 : 約2.3 kg、WS-PA3,PA3S : 約1.8 kg、WS-PA4 : 約840 g
仕上げ	前面パネル : ライトニューム白色 WS-PA2,PA3,PA3S フレーム : アルミ合金 銀色アルマイト処理 コーナー : ABS樹脂 グレー色 WS-PA4 エンクロージャ、パネル : 94V-0 ABS樹脂 銀色塗装

(注) この表示は「電気用品取締法技術基準」に基づくものです。

アンプ部	
定格出力	5 W (6)
入力感度	マイク : -56 dBV 3.5モノラルミニジャック 不平衡 600 ライン : 0 dBV 3.5ステレオミニジャック 不平衡 10 k 2系統ミキシング
周波数特性	100 Hz ~ 12 kHz (ライン入力時)
S/N	60 dB 以上 (ライン入力時)
全高調波歪率	5 % 以下
残留雑音	2 mV 以下 (JIS-A)

コンパクトフラッシュカード録音再生機能 (WS-PA2,PA3,PA4のみ)

CM領域 (録音再生)	録音再生容量 : 4 MB (約8分) 録音再生方式 : 8 bit ADPCM方式 サンプル周波数 16 kHz
BGM領域 (再生のみ)	再生モード : 4モード (BGMリピート/CMリピート/センサー連動 CM BGM有/無) 再生方式 : 8 bit ADPCM方式 サンプル周波数 32 kHz

センサー連動再生機能 (WS-PA2,PA3,PA4のみ)

センサー方式	赤外線方式 焦電型モーションセンサー
センサー感度切換	2段階 遠/近
センサー連動モード	BGM 有/無 2モード センサータイマー : 約1分 BGMレベル : -3 dB/-6 dB (-6 dB時可変幅 約10 dB)

表示機能

レベル表示	緑・橙 (2色LED表示)
センサー応答表示	橙 (WS-PA2,PA3,PA4のみ)

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

保証書(別添付)

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

補修用性能部品の保有期間

当社は、このパネルスピーカーの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、商品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お 買 い 上 げ 年 月 日	年 月 日	品 番	WS-PA2,PA3,PA3S,PA4
販 売 店 名		☎ ()	-

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 AVシステム事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045)932-1231(大代表)

N1100-2021

A8QA5658CN